

社・福・翁・自・傳・

福澤先生は天保五年大阪に誕生、三歳のとき書を學び二十一歳長崎にて洋學の門に入り次て大阪に行き又次江戸に來り弱冠の時より老齢の今日に至るまで終始西洋文明の主義を以て生涯を成したる人なり

其人の

生涯は實に我國多事變化の日にして封建門閥

の至靜より文明快活の新社會に移り先生亦古

て力あるは世人の認む所

なり先生本年六十五歳既往を回顧すれば苦樂一ならず嘗に一身の苦樂のみならず

其行路の實際と聞けば由て以て時勢の眞面目

綴り漸く集めて一冊の書を成し福翁自傳

先生は之を子孫に告げ又知人朋友に語るを以て老餘の樂事と爲し去年來時に聞あれば之を思出して殆んど際限なき次第なれば冊子印刷は他日の方とし先づ之を明治三十一年六月十二日

明治三十一年六月十二日

三十二年度の財政

明治三十一年六月十二日

時事新報記者誌

明治三十一年六月十二日

政府が眞實財政整理の目的を達せんとする所を除て他比適當の手段なき次第は我輩が愚々論じたる所にして當局者も其必要を認め臨時議會に預託案を提出したれども貢税の方法を以て之を得たりしが爲めに衆議院を離れて二度請願文を呈上されば増税案立場を據へ給局議員と共に立派と爲れり本度の財政案に至ては増税の收入

十萬圓内外の餘裕を生ずる由なれども此外に

新に支辨を要する經費の額は決して少しど

うだに於て増額物價賃費に伴ふ一般行政費の增

加改正條約實施に伴ふ新事業費の如きは其重

なる者にして總計三千七百萬圓に上る見込な

れば結局歲計全體に於て三千五百萬圓内外の

歳入不足を見るものと覺悟せざる可らず目下

の實際に於て増税の急務なる所以にして政府

が其斷行を決心したるも畢竟の邊の必要に

追られたるものならんれども既に其不成立

と定まりたる以上は如何なる邊に財源を求め

て豫定の計畫を完成するの者なるや假りに次

期の議會に再び増税案を提出して兩院の協賛

を得たりとするも明年十月前後に至らざれば

到底その實施を望む能はず従て増税に依頼し

て明年度の財政を維持するは思ひも寄らざる

所にして他に相當の財源を求める可らず或

金を流用して歲入の不足を補ふとならんれども

最も資金の現在高より本年度の豫算に於て使

用す可き高を差引くとは明年度の始に於け

る殘額は五千三百四十五萬圓内外に過ぎず此

内より同年度の償金線入高三千百八十一萬圓

并に公債募集の線替高千二百廿五萬圓を差引

得る高は九百三十八萬圓に止まる可し償金の

全額を流用して一時の急に應ずる他の一方に

限りは結局明年度早々公債を外國市場に賣出

る成行にして政府に於ても既に此邊の必要を

認めて公債條例の改正を企てたる次第なれど

も若しも外國の資本家にして財政不整理事實

情を知らんには果して此方の望むが如き好都

合の條件を以て輸入の目的を達するや否や甚

だ疑はしき所なり假りに輸入の効を奏したり

とするも經常費の財源を外資に求むるは財政

上、業の徳であるものに非ざるのみか本來増税

は財政計畫より公債償還の増額七百萬圓を差引

くべきは實際卅二年度の歲計補足に充つるを

認めて公債條例の改正を企てたる次第なれど

も若しも外國の資本家にして財政不整理事實

情を知らんには果して此方の望むが如き好都

合の條件を以て輸入の目的を達するや否や甚

だ疑はしき所なり假りに輸入の効を奏したり

とするも經常費の財源を外資に求むるは財政

上、業の徳であるものに非ざるのみか本來増税

は財政計畫より公債償還の増額七百萬圓を差引

くべきは實際卅二年度の歲計補足に充つるを

認めて公債條例の改正を企てたる次第なれど

も若しも外國の資本家にして財政不整理事實

情を知らんには果して此方の望むが如き好都

合の條件を以て輸入の目的を達するや否や甚

だ疑はしき所なり假りに輸入の効を奏したり

とするも經常費の財源を外資に求むるは財政

上、業の徳であるものに非ざるのみか本來増税

は財政計畫より公債償還の増額七百萬圓を差引

くべきは實際卅二年度の歲計補足に充つるを

認めて公債條例の改正を企てたる次第なれど

も若しも外國の資本家にして財政不整理事實

情を知らんには果して此方の望むが如き好都

合の條件を以て輸入の目的を達するや否や甚

だ疑はしき所なり假りに輸入の効を奏したり

とするも經常費の財源を外資に求むるは財政

上、業の徳であるものに非ざるのみか本來増税

は財政計畫より公債償還の増額七百萬圓を差引

くべきは實際卅二年度の歲計補足に充つるを

認めて公債條例の改正を企てたる次第なれど

も若しも外國の資本家にして財政不整理事實

情を知らんには果して此方の望むが如き好都

合の條件を以て輸入の目的を達するや否や甚

だ疑はしき所なり假りに輸入の効を奏したり

とするも經常費の財源を外資に求むるは財政

上、業の徳であるものに非ざるのみか本來増税

は財政計畫より公債償還の増額七百萬圓を差引

くべきは實際卅二年度の歲計補足に充つるを

認めて公債條例の改正を企てたる次第なれど

も若しも外國の資本家にして財政不整理事實

情を知らんには果して此方の望むが如き好都

合の條件を以て輸入の目的を達するや否や甚

だ疑はしき所なり假りに輸入の効を奏したり

とするも經常費の財源を外資に求むるは財政

上、業の徳であるものに非ざるのみか本來増税

は財政計畫より公債償還の増額七百萬圓を差引

くべきは實際卅二年度の歲計補足に充つるを

認めて公債條例の改正を企てたる次第なれど

も若しも外國の資本家にして財政不整理事實

情を知らんには果して此方の望むが如き好都

合の條件を以て輸入の目的を達するや否や甚

だ疑はしき所なり假りに輸入の効を奏したり

とするも經常費の財源を外資に求むるは財政

上、業の徳であるものに非ざるのみか本來増税

は財政計畫より公債償還の増額七百萬圓を差引

くべきは實際卅二年度の歲計補足に充つるを

認めて公債條例の改正を企てたる次第なれど

も若しも外國の資本家にして財政不整理事實

情を知らんには果して此方の望むが如き好都

合の條件を以て輸入の目的を達するや否や甚

だ疑はしき所なり假りに輸入の効を奏したり

とするも經常費の財源を外資に求むるは財政

上、業の徳であるものに非ざるのみか本來増税

は財政計畫より公債償還の増額七百萬圓を差引

くべきは實際卅二年度の歲計補足に充つるを

認めて公債條例の改正を企てたる次第なれど

も若しも外國の資本家にして財政不整理事實

情を知らんには果して此方の望むが如き好都

合の條件を以て輸入の目的を達するや否や甚

だ疑はしき所なり假りに輸入の効を奏したり

とするも經常費の財源を外資に求むるは財政

上、業の徳であるものに非ざるのみか本來増税

は財政計畫より公債償還の増額七百萬圓を差引

くべきは實際卅二年度の歲計補足に充つるを

認めて公債條例の改正を企てたる次第なれど

も若しも外國の資本家にして財政不整理事實

情を知らんには果して此方の望むが如き好都

合の條件を以て輸入の目的を達するや否や甚

だ疑はしき所なり假りに輸入の効を奏したり

とするも經常費の財源を外資に求むるは財政

上、業の徳であるものに非ざるのみか本來増税

は財政計畫より公債償還の増額七百萬圓を差引

くべきは實際卅二年度の歲計補足に充つるを

認めて公債條例の改正を企てたる次第なれど

も若しも外國の資本家にして財政不整理事實

情を知らんには果して此方の望むが如き好都

合の條件を以て輸入の目的を達するや否や甚

だ疑はしき所なり假りに輸入の効を奏したり

とするも經常費の財源を外資に求むるは財政

上、業の徳であるものに非ざるのみか本來増税

は財政計畫より公債償還の増額七百萬圓を差引

くべきは實際卅二年度の歲計補足に充つるを

認めて公債條例の改正を企てたる次第なれど

も若しも外國の資本家にして財政不整理事實

情を知らんには果して此方の望むが如き好都

合の條件を以て輸入の目的を達するや否や甚

だ疑はしき所